

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 30 年 3 月期（平成 29 年度）第 3 四半期 決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：宮城県仙台市、社長：田尾 祐一、以下「フィデアHD」）は、平成 30 年 3 月期（平成 29 年度）第 3 四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：上野 雅史、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田県秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 30 年 3 月期第 3 四半期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）連結業績

低金利環境の長期化や金融市場の変動を背景として貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 11 億 44 百万円（2.9%）減少し 374 億 40 百万円。与信関係費用が減少したことを主な要因として、経常利益は前年同期比 7 億 63 百万円（14.1%）増加し 61 億 56 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 2 億 40 百万円（5.3%）増加し 47 億 66 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金が増加した一方で公金預金の減少を主な要因として前年同期末比 258 億円（0.9%）減少し 2 兆 6,047 億円。貸出金残高は、地方公共団体向け貸出の減少を主な要因として前年同期末比 80 億円（0.4%）減少し 1 兆 7,657 億円。

		番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
損 益	経常収益	(1)	37,440 百万円	38,585 百万円	△ 1,144 百万円	△ 2.9 %
	業務純益	(2)	3,498 百万円	5,719 百万円	△ 2,220 百万円	△ 38.8 %
	コア業務純益*	(3)	4,503 百万円	5,194 百万円	△ 690 百万円	△ 13.2 %
	経常利益	(4)	6,156 百万円	5,393 百万円	763 百万円	14.1 %
	親会社株主に帰属する四半期純利益	(5)	4,766 百万円	4,526 百万円	240 百万円	5.3 %
主要勘定残高 (末 残)	総資産	(6)	28,584 億円	29,520 億円	△ 936 億円	△ 3.1 %
	預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	26,047 億円	26,305 億円	△ 258 億円	△ 0.9 %
	貸出金	(8)	17,657 億円	17,737 億円	△ 80 億円	△ 0.4 %
	有価証券	(9)	8,528 億円	9,772 億円	△ 1,244 億円	△ 12.7 %
自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)	(10)	9.31 %	9.68 %	△ 0.37 %	
不 良 債 権	金融再生法開示債権額(2行合算)	(11)	35,471 百万円	38,945 百万円	△ 3,473 百万円	△ 8.9 %
	総与信に占める割合(2行合算)	(12)	1.95 %	2.13 %	△ 0.18 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 (以下、同様。)

(2) 平成 30 年 3 月期（平成 29 年度）連結業績予想

平成 30 年 3 月期第 3 四半期のフィデアHD連結の経常利益および純利益が、平成 29 年 11 月 13 日に公表した通期業績予想を上回っておりますが、今後の経営環境や金融市場の動向を見極める必要があることから、現時点において業績予想の変更はございません。

		フィデアHD (連結)	(ご参考)	荘内銀行 (単体)	北都銀行 (単体)
経 常 利 益	(13)	5,400 百万円	経 常 利 益	2,200 百万円	2,400 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	(14)	3,900 百万円	当 期 純 利 益	1,300 百万円	2,000 百万円

(次ページへ)

2. 荘内銀行

平成30年3月期第3四半期（平成29年4月1日～平成29年12月31日）単体業績

貸出金利息の減少を主因として経常収益は前年同期比2億60百万円減少し193億85百万円。預金等利息を中心とした資金調達費用や与信関係費用の減少を含め経常利益は前年同期比35百万円増加し29億6百万円、四半期純利益は前年同期比5億5百万円減少し21億19百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金が増加した一方で公金預金などが減少し前年同期末比347億円減少の1兆3,260億円。貸出金残高は、住宅ローンや地方公共団体向けなどが減少し前年同期末比221億円減少の9,555億円。

		番号	荘内銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
損益	経常収益	(15)	19,385 百万円	19,646 百万円	△ 260 百万円	△ 1.3 %
	業務純益	(16)	1,700 百万円	2,936 百万円	△ 1,235 百万円	△ 42.0 %
	コア業務純益	(17)	2,528 百万円	2,799 百万円	△ 271 百万円	△ 9.6 %
	経常利益	(18)	2,906 百万円	2,870 百万円	35 百万円	1.2 %
	四半期純利益	(19)	2,119 百万円	2,625 百万円	△ 505 百万円	△ 19.2 %
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(20)	13,260 億円	13,608 億円	△ 347 億円	△ 2.5 %
	貸出金	(21)	9,555 億円	9,776 億円	△ 221 億円	△ 2.2 %
	有価証券	(22)	4,379 億円	5,085 億円	△ 706 億円	△ 13.8 %
自己資本比率	自己資本比率(国内基準)	(23)	9.43 %	10.06 %	△ 0.63 %	
不良債権	金融再生法開示債権額	(24)	24,849 百万円	24,648 百万円	201 百万円	0.8 %
	総与信に占める割合	(25)	2.55 %	2.47 %	0.08 %	

3. 北都銀行

平成30年3月期第3四半期（平成29年4月1日～平成29年12月31日）単体業績

貸出金利息や国債等債券売却益の減少などから経常収益は前年同期比11億33百万円減少し168億37百万円。一方、与信関係費用や経費の減少を含め経常利益は前年同期比4億20百万円増加し25億74百万円、四半期純利益は前年同期比1億75百万円増加し18億4百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に前年同期末比90億円増加し1兆2,875億円。貸出金残高は、住宅ローンを中心に前年同期末比116億円増加し8,244億円。

		番号	北都銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
損益	経常収益	(26)	16,837 百万円	17,971 百万円	△ 1,133 百万円	△ 6.3 %
	業務純益	(27)	1,211 百万円	2,337 百万円	△ 1,126 百万円	△ 48.1 %
	コア業務純益	(28)	1,537 百万円	1,955 百万円	△ 418 百万円	△ 21.3 %
	経常利益	(29)	2,574 百万円	2,153 百万円	420 百万円	19.5 %
	四半期純利益	(30)	1,804 百万円	1,628 百万円	175 百万円	10.7 %
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(31)	12,875 億円	12,785 億円	90 億円	0.7 %
	貸出金	(32)	8,244 億円	8,128 億円	116 億円	1.4 %
	有価証券	(33)	4,146 億円	4,686 億円	△ 539 億円	△ 11.5 %
自己資本比率	自己資本比率(国内基準)	(34)	11.26 %	11.85 %	△ 0.59 %	
不良債権	金融再生法開示債権額	(35)	10,621 百万円	14,296 百万円	△ 3,675 百万円	△ 25.7 %
	総与信に占める割合	(36)	1.26 %	1.73 %	△ 0.47 %	

以上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

I R グループ 大石 (TEL:022-290-8800)、佐藤 (TEL:023-626-9006)、市田 (TEL:018-833-4211)